

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます す	〒	(事務局記入欄)	
	(①市・郡・町)	神戸市	
	(②区・町・字)		
	(③丁目・番地等)		
(④国)			
氏名 団体名	相生町4丁目町会		
活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	震災発生から丸一日は外出が出来ないので家の状況が思 二日坊内町の全家庭の家族の人数の把握と安全確認と 一軒をフォローした。うらやうらが全戸で月々の避難所及び 原の避難所へ個別として町内の入居状況をレポートとして朝夕 から支給される支援物資の確保に努力し各家庭へ配布した 町の内町内代表者男女を答へる事でボランティアの育成 ・が4チームを組み24時間体制で24時間6時間1町14 11トローの災害の維持と被災者への不法投棄の監視、 電線の下がり等安全管理のために又復興支援活動として 他の地域へ避難所へ慰問の企画も行つたに励んだ。 うらやうらが復興支援の約2ヶ月で2000人への訪問と 協力し進んで地域活動の活性化を図ることに力をかけた 大変感謝は、幸い当地区は倒壊家屋も死傷者もな つたが、不十分です。又、おら10年又新築と同じ感覚 をたし新築して自然の恐れはと無防備で済んで一時早 い復興を祈ります。		

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町) 神戸市	
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	あじさいコンサート実行委員会	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>【名称】心の復興・あじさいコンサート</p> <p>【主催】(財)みなと銀行文化振興財団・神戸市教育委員会</p> <p>【期間】震災の翌年より毎年1月に開催。 平成16年度：平成17年1月8日(土)14:00～</p> <p>【場所】神戸文化ホール大ホール</p> <p>【目的】阪神・淡路大震災周年記念事業の一環として、様々なコンクールで高い評価を受けた神戸・阪神間の学校や地域団体による合唱・合奏を市民に広く披露することにより、震災後の「心の復興」に役立てるとともに、市民文化の振興に寄与する。</p> <p>【内容】幼稚園・小学校・中学校・高等学校・一般の中から、全国的に活躍した優秀な学校・団体を中心に、実行委員会で協議し、選考した学校・団体による合唱・合奏のアマチュアトップコンサート。</p> <p>【うれしかったこと】</p>	
	<p>「心の復興」を願い始まったこのコンサートは、市民のみなさんに愛され、期待される音楽会として定着してきました。会場にあふれるほど多くの方々にご参加いただき、感謝しています。</p> <p>毎年楽しみに聴きに来られる方が多く、その意を汲んで出演者の方々もいろいろ工夫をこらして楽しいステージを展開して下さるのもとても嬉しく思います。</p> <p>エンディングの「あじさいを咲かそう」は、神戸の明日を願った舞台と会場が一体となる大合唱で、その歌声の響きは毎年感動的です。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
	<p>(①市・郡・町)</p> <p>赤川市</p>	
	<p>(②区・町・字)</p>	
	<p>(③丁目・番地等)</p>	
	<p>(④四)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>綱川 乙子</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>震災の時一人住みの住ったので息子が 西神中実からお母さんが全壊した私の住 宅に迎えに来てくれた。 息子の所で友人のお親(病気で退院したばかりの)が来てお家族5人が友人のお親と実 妹の家族11人の住みで大変でした その所私もその方の親のお世話を等々して もらい、私自身も肩痛を時々あり入院の日 の朝の大地震があったので、そこから今の住 所に戻りてお家族々としてその称を大変 をしました。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>アンティ.ネット</p>	
<p>活動の内容</p> <p>（ 名 称 ）</p> <p>（ 期 間 ）</p> <p>（ 場 所 ）</p> <p>（ 具体的内容 ）</p> <p>（ うれしかったこと ）</p> <p>（ 困ったことなど ）</p>	<p>神戸のスケッチ（カレンダー）</p> <p>平成11年神戸婦人大学情報学科を卒業しグループを立ち上げました。社会に何らかの形で貢献できないかと考え、震災後美しく蘇った代表的な神戸の風景をパソコンで描いてカレンダーを作成し、震災後神戸を離れた友達、知人、親戚等に神戸の素晴らしさを毎年送り届けています。（手話、点字付き）</p> <p>平成17年（作成済み）で7回目になるこの活動はこれからも続けたいと思っています。懐かしい神戸のスケッチから元気もらっています。との感謝の声に喜びを感じています。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>いい顔・笑顔 人形劇の会 吉田節子</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>いい顔・笑顔 人形劇の会</p> <ul style="list-style-type: none"> 1995年2月 発足 阪神・淡路大震災で被災した子ども達や回りの大人達に笑顔をと戻してほしいと願った人形劇の支援公演や講座を開催。約7年間に200回を行なった。 場所は、保育所、児童館を中心に、幼稚園、仮設住宅集会所、復興住宅等で開催。 内容は、人形劇をとおして、プロアマの劇団の有志から、関東から上演に来て、子ども達に楽しい時間を提供してくれた。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 経費は、各劇団の手弁当で、被災現地の事務局が会場や宿泊の準備受け入れを行なった。 発起人の幸田真希氏(東京在住)の支援と行動力によるところが大きい活動で、地元と支援者のネットワークも、これだけ継続できた大きな要因だと考えられる。 報告集を2003年に発行。今後の支援活動に役に立つことを願っている。阪神間の公共図書館に寄贈。 	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	
<p>氏名</p> <p>団体名</p>	<p>いっしょの会</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>震災当時 生活に必要不可欠な電気、ガス、水などが、 なく、近隣の老令の身体が随分母娘が 水で洗濯が出来ない、お風呂も、水道の 管内水が流出、水単が手伝った。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④Ⅲ)	(事務局記入欄)
氏名 団体名	井上 芽子	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	<p style="text-align: center;">電話連絡</p> <p style="text-align: center;">安全の確認、給水活動</p> <p style="text-align: center;">1/17 ~ 1/26まで</p> <p>近隣の道帯風が甚しかった。電話がつかず、道路が 個人情報も得られず、相互の助け合いがなかった。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	
	<p>①市・郡・町) 神戸市</p>	
	<p>②区・町・字)</p>	
	<p>③丁目・番地等)</p>	
	<p>④區)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>うたと友だち</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>平成16年5月灘の決住宅集会所を活性化させるため なにか初めてほしいとのことでした!人暮^{お暮}り^の住宅です。 挨拶だけでもと童謡でも歌って見たらとの話 になり「うたと友だち」を充足しました。月2回 こもりがちな人達が気兼ねなく歌い、世間話も出来 他の棟の人とコミュニケーションもとれる莫の棟を 場所を求めていると思います。あの震災から生き 来た人々です。童謡、なつかしい唄、子供の頃 かえられる故郷をたずねる声を出してあげ てあげています。(生きていくだけじゃなく)此の童謡、NHKの テレビ「わがな」中で言っている「うたと友だち」も力付け てくれる唄があります。「これから音頭」です。童謡の仲間 と歌を唄えば活気も出ると笑い顔。頑張ろう。</p>	
<p>(大泉健郎さん)</p> <p>これから音頭</p> <p>③</p>	<p>歌を唄えば気も若やいて、みんな気持ち同じ年 助けられたり助けて見たり。まだまだ人生「これからだ」 これから音頭で健やかに。 スコヤカニ</p>	

(集会所運営委員会)

より)

(30名ほどの人が集まり)

震災復興支援活動の記録

<p>住所 ※①市町名は公開 させていただきます</p>	<p>〒 (①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④四)</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>NPO法人 輝たかまる ^{理轄} 杉山カ子</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>①見守り兼配食サービス 平成13年1月～現在 継続中 豊水区坂上3-2-31 輝たかまる事務所を拠点 に区内旭町・桃山台・山手・榎・青台・平磯方面の ひとり暮らし老人・身体が弱い人に業者の作る昼食を 配達している。声をかけ、安否を確認しながら配達。 日曜・年末年始が休みで、あとは毎日配達。 雨・風の日は大変だけれど、時計を見ながら待つという 人と思いを届けている。</p>	
	<p>②コミュニティセンター 豊水康楽市場内の空店舗を借りて平成13年9月 現在継続中。古本・古着コーナー・手芸コーナー・コーヒー 紅茶など100円喫茶など 買い物に来られた人の いこいの場となっている。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>
	<p>①(市) 神戸</p>
	<p>②(区) 町・字</p>
	<p>③(丁目) 番地等</p>
	<p>④(組)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>下池町11組自治会 神谷 昌</p>
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>自治会12年長、47年～現在。 困ったこと、震災直後の大災により当地は全滅 はろぼろの住民とロコミを別の住民表 作り、避難場所での宿泊。 区画整理審議会副会長 H9年～現在 まちづくり協議会〃 H9年～〃 行政、住民協同でのまちづくり 困ったこと、市民の身に行を流しな公務員</p>
	<p>少年指導員、困ったこと、少年達の低年齢化、喫煙化、 市民安全推進員、H14年から現在。 ラジオ体操開始、千歳公園 H.14年～現在 自費クラブ結成。 神しかつたこと、クラブの成長、スタート7名～62名 会費が増え健康になり、健康を早めかて調子が良いとの報告。 予想以上のコミュニティの振かり、未達目標に17.12。</p>

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(①市) 神戸	
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④限) FAX	
氏名 団体名	尾路 進	
活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	<ul style="list-style-type: none"> • 名称 ハーモニカ演奏ボランティア • 期間 平成8年1月より16年現在も継続中(現在250回) • 場所 ディサービス、老人ホーム、復興住宅等 • 内容 歌う伴奏をします 歌詞カードのワープロ作成 折り紙、手作りおもちゃ等、音遊び • うれしかったこと ハーモニカで歌う伴奏をして同年代の皆さんに大変喜んでもらい、共に楽しく過ごせたこと。『またきてください』と、玄関まで車椅子で見送られたこと等、今でも忘れられません。 在宅のときは歌詞カードのワープロ、コピー、ハーモニカの練習等、時のたつのも忘れてしまいます。そして会場へ地図を頼りにハーモニカ、マイク、スタンド等8キロ程の荷物でキャリアをひっぱって出かけます。 	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます す	〒 (①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④四)	(事務局記入欄)
氏名 団体名	太田共同保育所 現在 (社会福祉法人おおた) (当時は無認可保育所でした) (太田共同保育園)	
活動の内容 (名 称) (期 間) (場 所) 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所には乳児用の粉ミルクを提供した。 (10缶) ・1月末ぐらい 復元の 太田中学校避難所へ。 ・当時無認可だった太田共同保育所も全壊し 再開のメドが立たなかったため、保育所で 買い置きしていた粉ミルクを役立てていただ けでは”と思い、お持ちしました。 	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (事務局記入欄)	
	①市・郡・町 神戸市	
	②区・町・字	
	③丁目・番地等	
	④四	
氏名 団体名	太田英同保育所 現在 (社会福祉法人おおた) (当時は無認可保育所として) (太田共同保育園)	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	<ul style="list-style-type: none"> ○一時保育のボランティア。 ○2月末～3月末ぐらいまで ○長田区芦屋通のマンションにて ○卒園児の親の善意で、そのお宅を借りて 保育を再開しました。 その時避難所にいる子ども達を少しの間でも 仲良く伸びと遊ばせてあげたいと思い、近くの 五位池小学校や板宿小学校の避難所にテント を立てました。 10組ぐらいの親子が利用されました。 中には、壊れた家の片付けに帰りたいが、子ども が怖がって中に入らないので預かってほしいと いう方もおられました。 	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (事務局記入欄)	①市・郡・町) 神戸市 ②区・町・字) ③丁目・番地等) ④四)
氏名 団体名	太田英同保育所 現在 (社会福祉法人おおた) (当時は無認可保育所以下) (太田共同保育園)	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	・お船の公園での青空保育のボランティア。 ・3月初～3月末まで。 ・妙法寺川公園(通称「お船の公園」) ・大黒小学校や太田中学校の避難所の 子どもたちや、公園で野宿している方々の 子どもたちに向けて、平日の昼すぎに (雨天中止)公園で、手あそびや、絵本の読み 聞かせ、まごど、鬼ごっこなど、年齢に合わせた 遊びを楽しみました。 毎回、大阪の保育園から保育士が応援に 来てくれました。 子どもだけでなく、一緒に来たお母さん達か しべりたイベントが沢山あったようで、お話を聞くことも大	

切な
は早でした

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (①市・郡・町)	(事務局記入欄) 神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④四)	
氏名 団体名	太田英同保育所 現在 (社会福祉法人おおた) (当時は無認可保育所でした) 太田共同保育園	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ラーメンとカレーの炊き出し ○ 3月末。 ○ 妙法寺川公園 (通称「お船の公園」) ○ 大阪や京都の保育園からの応援を受け、お船の公園で、ラーメンとカレーを200食づつ炊き出しをしました。 	
	とても喜ばしい。お鍋を持って並んで いる方の長い列が出来ました。	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(①市・郡・町)</p> <p>神戸市</p> <p>(②区・町・字)</p>	<p>(事務用記入欄)</p>
<p>氏名</p> <p>団体名</p>	<p>不崎一孝</p> <p>NPO法人 神戸都市生活環境文化サービス</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>震災の跡地に平成8年花みずき、ふし等樹木を植え、荒廃した土地に草花を植え、荒廃地の緑化活動を行っている。当地では震災直後に再開発事業区として指定され、再開発事業の現在まで行われてきたが、その間、住民の生活による空地化が目立ち、行政の管理化では草の蔓延、それに伴う害虫発生等の問題が顕著なように感じたので、その土地を自ら管理し、再び緑化の推進の借用し上記の緑化活動にとり取っている。又、1.17の文字を記した花壇も平成16年10月に完成し、平成17年1月17日にはセレニーもNPO主催で行うことと決めている。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開 させていただきます</p>	<p>〒</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
	<p>(①市・郡・町) 神戸市</p>	
	<p>(②区・町・字)</p>	
	<p>(③丁目・番地等)</p>	
	<p>(④組)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>楠南地区民生委員 山田民枝</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>1月17日(震災当日)10時半頃より福祉センターにて炊き出しの手伝い。 米は石井米穀店提供。水は5丁目市営住宅のタンクの残り水利用。さいわい、電気は通じていたので電気炊飯器を集め、5合炊き/升炊きあわせて、10台程度使用。 19日避難所より帰宅あるいは避難せずに在宅の人の各家庭の人数、及び安否確認調査。 19日夕刻、避難所(湊小学校)より給食配布を受け、全所帯に配布。</p>	
	<p>20日より3食毎、半月すぎから朝夕2回配布。大急母子寮当時の施設長、松井様、避難所より母子寮まで運んで下さり、6丁目友愛訪問グループの人々の協力を得て、3月15日迄毎日各世帯に配布できたことはよかったです。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
<p>①市・郡・町) 神戸市</p>		
<p>②区・町・字)</p>		
<p>③丁目・番地等)</p>		
<p>④凡)</p>		
<p>氏名 団体名</p>	<p>グループ・リハ 江田 正子 (現住いんみつ学園在学 阪神中フロンター 神戸市健康大学在)</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>平成17年1月17日午前5時46分の大震災から10年めを迎える。平成17年はよい年であることと喜びます。あゆみの村にあるシルバーカレッジ卒業後の目的は、社会に還元していくボランティア活動もひとつである。早いスピードで建設された仮設住宅には多くの人が住まわれ、モーニングサービスが始められ、毎日ボランティアに参加させてもらった。日を追ってモーニングに来られる人々に、笑顔が見られ、親しく話せるようになることと私の生きがいに なっていく。シルバーハウスの建設され、仮設の住民が引越すことか出ると、その会議室で玉ねぎ、キウイ、ササゲ、同かれるように なる。金銭的な支援もあって、歌いながらの体操、カラオケにも 参加させてもらった。入居の人々に楽しめるようにしていった。リハ 神戸の老人健康施設のホアンシ、友人の知人が婦長でいらしたこと で、ボランティアを申し込め参加できるようになった。18又の先輩、同期 生、友人に呼びかけ、在学中、市長、県知事賞をいただいたのは、 ボランティアにかけるきっかけを作ってくれたと思います。現在も 月曜日から金曜日までのボランティアを続けさせてもらっている。私 に出発することと共に楽しみ4箇所の方で設けボランティアを続けます。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>劇団「夢」サーカス</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>阪神淡路大震災で傷ついた神戸の街に心の復興を・・・。</p> <p>元プリマバレリーナ浮島智子の主宰で、1998年4月に結成されました。毎年1度のオーディションで選ばれた、小学校1年生から大人の劇団員に、社会福祉施設の児童を無条件で加えた、約20名で構成されています。</p> <p>月謝などの費用をいただきず、多くの企業協賛、個人の皆様のご協賛によって運営。舞台の設営・衣裳、道具の制作などは、多くのボランティアスタッフによって支えられています。週4回の練習も、多くの企業や学校などのご支援をいただき、無料で練習スペースを提供していただいています。</p> <p>兵庫県下の学校公演は、年に5～6校実施しており、同年代の劇団員による迫力あふれるステージは、生徒さんたちに「やれば出来る」という勇気を与えています。また、老人ホームでのボランティア公演では、世代を越えたふれあいの場が展開され、劇団員の笑顔に多くのお年寄りが「生きててよかった」と涙されています。</p> <p>また、震災でご両親を失った児童が、劇団の活動を通して、また舞台を見て、「人の役に立つ仕事をしたい」、「自分もやれば出来るんだ」と勇気や希望を持てるようになってきています。</p> <p>近年は、日本赤十字社兵庫県大会や「NHK海外助け合いキャンペーン」・兵庫県ふれあいの祭典への参加など、公的な場でも活動させていただいています。神戸市民が、あの震災で学んだ団結力、感謝の気持ちを、21世紀を担う世代が受け継ぎ、みんなで一つのを創り上げ、感動を共にしていきたい・・・これが劇団「夢」サーカスの願いです。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (事務局記入欄)	
	(①市・郡・町) 神戸市	
	(②区・町・字)	
	(②丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	河野 正和	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	<p>活動の内容</p> <p>平成15年1月13日(月曜日)「私が阪神・淡路大震災で学んだこと」の題で能勢の妙見山山頂にある「星嶺ホール」で、約120名の方の前で約1時間お話をさせていただきました。こんな機会を与えてくださったのは「妙見ハイクの会」グループ(代表者:豊能郡豊能町にお住まいの棚野勝也氏)です。この会は毎月一回ハイキングやお話を聴いたりしていて毎回100名以上が集います。会員数はH16.12で1200名を越え、来たるH17.10で発足以来満10年を迎える人気も実績もある会です。</p> <p>私は震災の話をするのが苦手なので、できるだけ避けてきた。前年の夏に「やって・・・」と軽く電話で言われて引き受けてしまった。でも私が瓦礫の下から奇跡的に助け出されたご恩のお返しの一つとしての震災の体験を聴いて頂いたのは整理する意味でもとてもよかったと、棚野さんには今も感謝している。</p> <p>話の概略</p> <p>私の震災体験を初めて多くの人前での話だったが、ご親戚や友人を亡くされた方、初めて震災体験を聴く方、皆さんがとても熱心に聴いて頂き、意外に話が進みました。</p> <p>でも相当あがっていたので録音のスイッチを入れ暮れたのには悔いが残る。</p> <p>主な項目： 基本は 能書きより行動、評論家より推進役になろう！</p> <p>* 解明できない不思議だらけの連続だった。私の命があるのは、探索してくれたご近所の方と若者の行動力と愛が基本ですね。なんとが言われているが震災時の若者はすごい。若者はできるんだ!と確信した。若者に感</p>	

謝・感謝である。

* 人類は自然を破壊しているが自然の動き＝天災を阻止できない、が軽減はできる。人類はこの地球を守ることもできる・・・と信じる。自然破壊を減らそう!

* 物物・がねかね・便利さ・都市生活の方が良いと思ってたでしょうが、しかし近郊や農村の方から、おむすびを始め貴重なご支援・暖かさを頂いたあのありがたさを決して忘れない。支援救援して頂きありがとうございました。

* 内助・自助・共助・公助 そして 共生することが求められている、農村と地域と都市との結びつきをもっと大切にしましょう!

* 1月17日は「おむすびの日」です。私は世界一バランスの良い健康食品であるお米毎日3回食べている。もっとご飯を食べよう!生活習慣病を減らし、休耕田を水田に復活させようと呼びかけた。

* 短い言葉でも人に元気を与え、人を動かすし、心に感動を生みます。同時に言葉は地域を動かし、国を動かすなんて夢をみている。今は P P だけれどある瞬間に K のお迎えがやって来ても抵抗はしません。

大きな力と皆様方 ありがとうございました。話の1部ですが・・・以上

平成 16 年 12 月 14 日

①神戸市

神戸市役所センター合唱団・太鼓衆団「輪田鼓」

震災復興支援活動の記録

活動内容

○避難所コンサート

神戸市役所センター合唱団は、震災後私達に何かできることはないかと思い、「くちびるに歌を、こころに勇気を」を合言葉に、歌と太鼓で避難者を励まそうと、2月11日の本山第三小学校を皮切りに避難所コンサートを行った。自らも被災者であり、避難所から通う団員もいたが、95年6月までの間に30ヶ所をまわり、人々に喜ばれた。被災者を励まそうという思いで展開したコンサートであったが、逆に団員自身が心の傷も癒えぬ日々から立ちあがる大きなバネになった。ここに団員の手記がある。「最初に小学校に入るとき何となく入ってはいけないところに土足で入り込む感じだった。ここで集団生活をしている人達の中に自分がどのように入っていけばいいのかわからず、恐いような気持ちをした。最初の太鼓の威勢のいい叩き出しの音になった時、不思議に気持ちが晴れた。太鼓の音は震災依頼なくしていた“元気”の素を身体に注ぎ込んでくれる様だった。先ほどの恐いような気持ちはあっという間に消し飛んだ。(中略)この震災で大きな傷を負った人達の前に立ち、その傷を癒すような、そんな力があるのかと奮えていた。だが、実際に癒されたのは私自身だった。それから毎週、廃墟と化した街のあちこちを歩き、避難所に行き、そして元気をもらって帰った。

■避難所コンサートの歩み

- 95.2.11. 本山第三小学校
- 2.17. コーブディズ西神南
- 2.19. 東灘区元気村
- 2.16 平野小学校、兵庫中学校
- 2.27 神戸電子専門学院
- 3.5. 真陽小学校、蓮池小学校、大黒小学校
- 3.12. 春日野小学校、湊川中学校、南京町
- 3.21. 青陽東養護学校、住吉小学校
- 3.25. 本山南小学校、メリケンパーク、
- 3.26. 山の手小学校
- 4.16. 市民のまつり
- 4.22. 福住小学校
- 4.30. 中野南公演テント村

写真

○阪神大震災鎮魂組曲「1995年1月17日」(原詩/森村誠一 編詩/池辺晋一郎・神戸市役所センター合唱団・作曲/池辺晋一郎)初演

こうしたさなかに団と親しくお付き合いをいただいていた作家の森村誠一先生から「今あなた達がこの震災の鎮魂組曲を歌わないでどうしますか。」とのお電話を頂き、合唱団として阪神大震災鎮魂組曲『1995年1月17日』を森村先生、そして作曲家の池辺晋一郎先生のお力をお借りして創作した。

1996年1月18日には震災1周年を期に合唱団では神戸港のクルーズ船「バルデメール号」に被災者約300人を招いて、船上での「阪神大震災一周年・メモリアル・コンサート」を開催。この第一回のメモリアル・コンサートで、震災組曲の中から二つの章を披露した。このコンサートを皮切りに団では毎年「阪神大震災メモリアル・コンサート」を実施し、10回目を迎えようとしている。

1996年4月7日に阪神大震災鎮魂組曲「1995年1月17日」(原詩/森村誠一、編詩/池辺晋一郎・神戸市役所センター合唱団、作曲/池辺晋一郎)を初演し、会場には2200人が埋め尽くす団史上最高の公演になった。この歌を歌うについては参加した120名の歌手の様々な思いがあったが、歌い終えた瞬間、万雷の拍手を送ってくださった観客との心の響きあいを皆が感じた。歌っている一人一人にみんなはどんな思いで歌ったのだろう。「今は歌うたびに涙が出て歌えない。前に池辺先生が、その気持ちをのりこえて歌うことが大切、と言われたけど、つまってもつまっても練習しています。歌いこんで歌いこんで、皆様に伝わるような演奏にしたいです。」歌手の一人はこう語った。そして、「幸いにも生き残ったみなさん方が、この歌を歌うために今日まで生きてきたんだという思いで歌った欲しい。」ステージに上がる前の私達に森村先生はこう語られた。

写真

◎初演後、あらゆる機会・場所で歌いつづけた阪神大震災鎮魂組曲「1995年1月17日」

○ニュージーランド公演

阪神大震災の同年8月に同じ地震国であるニュージーランド行きが決定した。震災組曲を歌い、そして日本の伝統芸能である和太鼓をたたき、公演を成功させることができた。阪神大震災鎮魂組曲が海を渡った。日本と同じ島国であり、しかも地震に強い関心をもっているニュージーランドでの公演は、ことばの壁を越えて心が通じあい、日本から9000キロ離れたこの地まで来たことの意味の深さと感動を肌で感じる事ができた。

写真

○「阪神・淡路縦断『人間復興』コンサート」の取り組み

97年には、「やはり鎮魂組曲を中心に据えて、これをもっと広げたい。これまで会場に足を運ぶのが難しかった人達にこそ、もっと聴いて欲しい。」そういう思いで被災地11市町で全団員が地域に入っの「阪神・淡路縦断『人間復興』コンサート」を開催することにした。

開催は4月～7月にかけて神戸市長田区、兵庫区、東灘区、北区、西区、中央区、明石市、芦屋市、西宮市、尼崎市、淡路島の津名町の11ヶ所。コンサートの内容は、震災組曲と和太鼓を必ず入れる他、各地の条件を生かしてプログラムを組む。公演成功のために色々な文化団体、文化人など共に手を取り合える人々と結んで協力しあいながら、震災でかみしめた様々な思いを胸に手作りのコンサートを行うこととした。そして、全団員を11のブロックに班編成し会場探しから出演団体（者）の交渉、企画構成、予算立案に至るまで自らがプロデュースし、あるいは、オルガナイザーとなって各地に実行委員会をつくってすすめた。

4月の長田公演から7月の淡路公演までの11回にわたる「縦断コンサート」の参加者はのべ3000人となった。縦断コンサート最後の開催地である淡路公演での池辺先生の感想は「本当にたくさんの人の協力でなりたったコンサートがこんなにも成功して、とても嬉しい気分になりました。僕は指揮をされていて7章で涙が出てきそうになって困ったんです。それを歌っているみなさんに悟られまいとして余計な神経を使ったんですけども。指揮者がそのようなことになつたらまずいなと思ったのですが、ある一部では客観性を失っていたかも知れません。（中略）そんな僕に冷静さを失わせたのは全くみなさんのせいですね。歌っている一人ひとりの目を見ていて、僕がそんなふうになったというのは、ある意味ではまずい。しかし別の意味では本当に素晴らしいことだと思いました。そんなことを今日僕に体験させてくださったみなさんに、僕はとても感謝しています。ありがとうございました。」

写真

○阪神大震災鎮魂組曲東京公演

2000年3月19日、東京紀尾井ホールで、阪神大震災鎮魂組曲が歌われた。今まで、あらゆる機会に歌い続けてきたこの震災組曲をぜひ東京で歌いたい、そういう思いが団員の中にあつた。しかし、誰かが招いてくれるのではない。合唱団自らが東京で公演をしたいという熱い思いがあつた。小さなツテを頼って、実行委員会づくりに東奔西走した。在京の合唱団はもとより、協力をいただけそうな劇団、団体、個人を回った。

当日、東京都内外から800名の方々が、会場を埋めた。

○20世紀から21世紀へのメッセージ

新しい世紀を迎えようとする2000年、合唱団では、定期演奏会での阪神大震災鎮魂組曲全曲演奏に取り組んだ。もう何回となく歌ってきた曲ではあるが、風化させてはならない、まだまだ街や人々は復興していないという思いで、取り上げることになった。それは60回目の鎮魂組曲の演奏でもあつた。今回は、新しい歌い手も増やし、新たな気持ちで歌いたいと、明石と神戸市西区・中央区・北区・東灘区の5会場で練習を行った。

20世紀も終わりを告げようとする12月23日（祝）に神戸国際会館こくさいホールで、170名の歌い手とともに、1700名のお客様を迎えて演奏した。

◎合唱団の震災からの立ちあがりを綴った「炎と涙の底からー鎮魂と再生のハーモニーー」

1999年震災後の5年間の活動をまとめた記録集を『かもがわ出版』より出版した。ここには、主に震災後の5年間の活動を記し、改めて私たちのやってきたことを振り返る機会とし、今後の活動の指針にした。ページ数は270ページに及び、それぞれの団員の思いを記したものとなった。

◎関西合唱コンクールでの金賞と平成8年度神戸市文化活動功労賞の受賞 関西合唱連盟から「長井賞」の受賞

96年に開催された全日本合唱連盟関西合唱コンクールで、自由曲に阪神大震災鎮魂組曲からの抜粋を歌った。強豪が出揃うこのコンクールで「恥ずかしくない演奏」とは思っていたが、まさか入賞、それも金賞を

阪神大震災鎮魂組曲を正面に据えての合唱団の取り組みを評価して下さったのか、11月に発表になった平成8年度神戸市文化活動功労賞に神戸市役所センター合唱団が選ばれた。受賞理由は「阪神大震災鎮魂組曲」等で神戸の音楽文化の向上につとめた」というのが受賞理由と聞くが、作品の持つ素晴らしい地からの実証と、それを心を込めて演奏してきた団員達への大きな励みとなった。

2001年には全日本合唱連盟関西支部で最高の権威とされる「長井賞」をいただき、合唱団は今まで支えてくださった多くのかたがたとともにこの受賞を喜び合った。

太鼓衆団「輪田鼓」

太鼓衆団「輪田鼓」は、神戸市役所センター合唱団の民謡部を母体として、89年に産声を上げた。輪田鼓のメンバーは、田中団長を代表に全員合唱団員である。合唱団は日本の伝統文化を継承したいとの思いから、設立当時から和太鼓と民舞に取り組んできた。合唱団の定期演奏会はもとより、学校公演はじめ、さまざまなイベントからの出演要請で年間70回近い太鼓・民舞での出演をしており、好評を得ている。太鼓衆団「輪田鼓」主催の和太鼓・民舞の公演も今年で8回目を迎える。前ページの活動には全て、合唱団とともに太鼓の演奏も行っている。太鼓衆団「輪田鼓」の活動として独自に行ってきたのは、次にあげる「鎮魂と希望の太鼓」がある。

○鎮魂と希望の太鼓

阪神・淡路大震災の犠牲者の鎮魂と復興への希望を共有しようと、震災の翌年から始められた「鎮魂と希望の太鼓」。毎年1月17日午後5時46分に全国津々浦々で一斉に打ち鳴らされている。太鼓衆団「輪田鼓」は毎年、JR三宮駅南で太鼓を叩き、聴いてくださる方々に勇気と希望を与えている。

写真

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	<p>(① 市・郡・町)</p> <p>神戸市</p> <p>(② 区・町・字)</p> <p>(② 丁目・番地等)</p> <p>(④ Ⅷ)</p>
<p>氏名</p> <p>団体名</p>	<p>河野 正和</p> <p>団体名:「げんきKOBÉ」</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p><活動の内容></p> <p>私の震災体験と感謝の気持ちを「1本の牛乳ビン」と題してラジオ番組名「60歳からげんきKOBÉ」から放送しました。</p> <p>放送局：ラジオ関西</p> <p>放送日時:平成13年7月1日(日曜日)朝 5時20分～30分</p> <p>あの震災の1/17の朝8時半頃だったでしょうか 膨大な瓦礫の下に埋まっていた圧死寸前の私を、ご近所の方々が悪戦苦闘して掘り出して下さいました。</p> <p>古タタミの上で横になり、助かったんだと思いながら、まぶしさと寒さを感じていました。薄い寝間着に、落ちていた小さなセーターを着込んで、隣の娘さんが差し出してくれた靴下などを身につけ・・・今まで埋まっていた場所や、つぶれた家や家財が至る所に散らばっている道路をぼーっと見ていた時のことです。</p> <p>一人の男性が、「これ子供の牛乳なんだが飲んだら・・・」と1本の牛乳ビンを差し出してくれました。それは自バラ牛乳でした。ありがとう・・・と言えたと思いますが、前夜から初めての飲み物、この冷たい牛乳をゆっくりと飲みました。それはとても美味しかったです。飲んでから私は落ち着き、この牛乳が私を生き返らせてくれたのです。</p> <p>あの震災直後に 子供の牛乳を私に譲って下さったこの男性に対する感謝の気持ちは、年々強くなりながら私の胸で生き続けています。お礼を伝えた</p>	

いとずっと探していましたが、未だにどこのどなたか解りません。でも、今では、地域の皆さま全てがこの男性だと理解し、この地域で少しでも役に立ちたいと心がけています。

震災で亡くなられた多くの方々の無念さと比べますと、こうして皆さまに私の感謝の気持ちをラジオからお伝えできる幸せを感じながら全力で生活する毎日です。

ありがとう一本の牛乳さん、そして地域の皆さん ありがとう 以上

平成16年12月15日

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます す	〒 (事務局記入欄)	(①市・郡・町) <u>神戸市</u> (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④TEL)
氏名 団体名	KOBE 観光ガイドボランティア	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	<u>震災学習支援ガイド</u> <u>2002年12月より開始</u> <u>市役所展望ロビー～東遊園地～国道2号線</u> <u>～メモリアルパーク 徒歩で約1時間のコース</u> (内容) <u>元気になった神戸を見もらったあと、自然の力</u> <u>の大きさ、互いに助け合うことの大切さなどを</u> <u>ガイド自身の体験も語りながら歩いてご案内</u> <u>している。中高生向けに設けたコースだったが、</u> <u>役所、消防、自治会^等の方々の申し込みも増</u> <u>えており、またまた「語り継がなければ」と</u> <u>思っている。</u>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開 させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
氏名 団体名	神戸北町ボランティアグループ	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>神戸北町ボランティアグループは北区日の峰に住む住民ができることをしようと集まった地元の主婦と学生のボランティア仲間です。</p> <p>1. 1月20日ごろから仮設住宅ができ小学校に避難していた方々が避難所から仮設住宅に移られるまでの間、約3ヶ月間、灘区大石の避難所となっている小学校で活動しました。①ふれあい喫茶の実施、②避難所の方々の名簿作り、③小学校入学前の幼児を集めての保育サークル、④よろず相談会、⑤物資の整理、⑥全国から送られてきた衣類の整理、⑦炊き出しなど</p> <p>2. 避難所に不足している物資の情報を集め、北区しあわせの村に集められている救援物資をそれらの避難所に分配。兵庫区、中央区、長田区など</p> <p>困ったことは、北区から灘区・中央区へ降りていくのに、道路が有馬街道と長田箕谷線くらいしかなく、ひどく渋滞してしまうこと。また、新神戸トンネルは一般使用ができなくなり、六甲山トンネルを通るようになった。このため、タイヤやガソリンの消耗が激しく負担が大きくなった。</p> <p>うれしかったことは、避難所で活動することはできないが、バックアップはしますという住民や企業が後ろに控えてくれていたこと。心強かったです。炊き出しやふれあい喫茶ができたのは、このような方の存在があればこそでした。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所	〒	(事務局記入欄)
※①市町名は公開させていただきます	(① 市・郡・町)	神戸市
	(② 区・町・字)	
	(③ 丁目・番地等)	
	(④ In)	
氏名・団体名	神戸教員合唱団	
活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	<p>1. 1996年の第18回定期演奏会より2004年1月第26回定期演奏会まで9年間、連続して「大震災復興チャリティー」として演奏会を開催し、収益と当日の募金とを合わせて、老人ホーム・震災遺児施設に贈り届けている。</p> <p>2. 養護施設へは、毎年クリスマスの日に出演し、1985年12月より子ども達との交流を続けている。</p> <p>3. 2005年1月の第27回神戸教員合唱団定期演奏会も、「大震災十周年チャリティーコンサート」とし、組曲「阪神大震災」の中の一曲「ミニトマト」をプログラムの中に取り上げている。鎮魂と復興の喜びのコンサートになることを祈っている。神戸教員合唱団の震災当時の活動、テープ、プログラムなど5点の資料は、「人と防災未来センター」(調査先 No1400411)に収めている。</p> <p>4. 困難を乗り越えて盲老人ホームへの訪問・交流であったので、喜びも大きかった。盲老人ホーム訪問は、1995年2月に、と約束をしていた。その矢先の大地震であった。老人ホームの皆様はどうしていらっしゃるだろう、と心配だった。TVでお元気な様子が放映され安堵した。施設長さんに連絡をとると、「この時期だからこそ来て欲しい」と言われた。団員への連絡もままならなかった。道路事情も大変だった。家が道路をふさいでいたり、たった2~300m進むのに車の渋滞で1時間もかかったり、崖崩れがあったり、一方通行を守らないのが当たり前になっていた。という状態だったので、鶴甲の丘の上まで、たどりつけるかどうか不安でいっぱいであった。2~3時間を覚悟して出かけた。案の定、山道の途中に崖崩れの箇所もあったが、予定より早く到着できた。給食の手伝いもできた。近くにある老人ホームにも呼びかけられており会場いっぱいになっていた。同じフロアに並んで歌い始めると、歌が進むにつれて、体で拍子をとられ、口ずさみ、次第に空気がなごんでいくのが感じられた。ご老人の顔はにこやかに笑みが浮かんできた。「みなさんごいっしょに」と声をかけると、晴れやかなお顔で歌ってくださった。ひときわ大きなテノールのお声の方は、先家の元教師であった。昔、中学生時代の人助けのエピソードが中学国語の教科書に載ったことがあるという方だった。その声につられて、大合唱となった光景は、今も心に残る。</p> <p>5. 震災遺児施設「虹の家」の子どもたちも成長し、今では世界に向けて震災時のボランティア活動に参加されている人もある、という。ささやかながら10年間基金を続けてきた私たちにとって、子どもさんたちの活躍を耳に出来ることは大変嬉しい。</p>	

6. ウィーンへの演奏旅行も世界の方々への震災支援のお礼が第一目標であった。団員一同大変大きな経験となり、あとの活動の励みとなりました。

7. 大震災より10年を振り返ってみます。

1995 (H7) 2月 社会福祉法人六甲鶴寿園 盲老人ホーム千山荘、訪問・演奏

12月 ポートアイランド仮設住宅・養護施設にて演奏

1996 (H8) 1月 阪神・淡路大震災記念事業・大震災復興チャリティーコンサート

創作組曲「阪神大震災」初演 (第18回定期演奏会)

3月 神戸市立フルーツフラワーパークにて「感謝と励ましの集い」出演

創作組曲「阪神大震災」演奏

8月 ウィーン夏の音楽祭シェーンブルーン宮殿広場にて組曲「阪神大震災」他演奏

大震災時のご支援に対してのお礼と復興への更なる決意をお伝えする

ウィーン市庁を訪問し、神戸市長よりの親書をたずさえ、音楽使節の任を果たす

11月 北区仮設住宅

1997 (H9) 1月 あじさいコンサート 阪神・淡路大震災1周年記念事業に出演

記念事業冊子「復興・飛翔」に神戸教員合唱団の創作組曲の演奏内容と団の紹介

2月 有馬地区地域交流の会、有馬高校にて、組曲「阪神大震災」演奏

3月 阪神復興ライブ 阪急西宮スタジアムにて、組曲「阪神大震災」演奏

9月 ヒューマンスターズ結成10周年記念震災支援の集いに神戸沖洲会館に参加

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒 (事務局記入欄)	(①市・郡・町) 神戸市
		(②区・町・字)
		(②丁目・番地等)
		(④Ⅲ)
氏名 団体名	神戸市消防音楽隊	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	名称： かがやきコンサート 期間： 平成10年1月から平成17年2月(毎年1回開催) 場所： 神戸文化ホール 具体的内容： 阪神・淡路大震災周年記念事業の一環として、震災の悲しみや教訓を風化させることなく、コンサートを通じて市民の心に元気と感動を与え、「安全都市神戸」の輝かしい未来を創造することを目的に毎年開催しているもので、神戸市消防音楽隊の吹奏楽演奏のほか、コーラスやダンスなど多彩なステージ内容となっている。その他：アンケートの結果をみると、「元気をもらった」「感動した」などの意見に混じって、「コンサートを継続してほしい」「神戸市消防音楽隊に対する激励」などの意見もあった。	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
	<p>(①市・郡・町) 神戸市</p>	
	<p>(②区・町・字)</p>	
	<p>(③丁目・番地等)</p>	
	<p>(④TEL)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>神戸市民病院ボランティアコ-ポネ-ク- (ボランティア)</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>9/25 ~ 10/23迄</p> <p>こゝ市民福祉交流センター 302教室</p> <p>児童館ボランティア</p> <p>受付日時：平成 16年 10月 13日(火) 10:00分 ~ 12時00分</p> <p>平成 16年 10月 14日(水) 10:00 ~ 12:00</p> <p>活動内容</p> <p>①おちん連と一緒に遊びました。</p> <p>②おちん連達と農園へ行きました。</p> <p>小部児童館へ行って行きたいのだから、おちん連達と行って</p> <p>おちん連達と遊んだ後、おちん連達に会いました。</p>	
	<p>そしておちん連達と一緒におちん連達と遊んだ後、おちん連達に会いました。</p> <p>おちん連達のお優しい方で、おちん連達と一緒におちん連達と遊んだ後、おちん連達に会いました。</p> <p>おちん連達のお優しい方で、おちん連達と一緒におちん連達と遊んだ後、おちん連達に会いました。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	神戸市立鶴台中学	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	神戸市立鶴台中学校では平成10年から年2回、「地域に役立つことをしたい」との願いから、復興住宅の「しるばーハイツひよどり台」(北区山田町下谷上)を慰問する活動を行っている。 平成15年12月25日には、同住宅を40人が訪問、お茶やお菓子を振るまい、肩もみをしたり、お年寄りとお話をする「ふれあい喫茶」を開催した。参加したお年寄り約50人は、お茶を飲みながらおしゃべりに興じ、震災当時の様子などを中学生に聞かせていた。	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④四)	(事務用記入欄)
氏名 団体名	神戸大学 馬術部	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	名称: 『かんぱれ神戸の子』 期間: 1998年以降 毎年、11月の土日曜 または 祝日に行っています。 今年は 29日(土)に行われました。 具体的内容: 元々、震災遺児の子供達に 我々馬術部員に何かできる事はないかと考え、 近年話題になっているアニマルセラピーを参考に して、馬術部の馬に子供達を乗せてあげたり、 馬場に移動動物園(アヒルやヤギ、ひつじなど) を呼んで、子供達に動物と触れ合う機会を 提供しています。午前中はあしなが育英会の 子供達を招待し、午後からは新聞の紙面で 公募した神戸市在住の小学生を40名ほど 招待しました。子供達の楽しそうな笑顔を見 ると、やて世かたにおおと思ひます。 今後とも是非続けていきなさいです。	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	①市・郡・町	神戸市
	②区・町・字	
	③丁目・番地等	
	④Ⅲ	
氏名 団体名	神戸フロイデ合唱団	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>音楽演奏活動を通じて、被災市民に心の安らぎと、復興への意気高揚 機程に合わせた方々の鎮魂を願い、10年目継ぎにきた。</p> <p>1995年2月、自らも被災者でありながら約70名の団員が練習を開始した。</p> <p>1995年7月、アワズホールにて、外山雄三曲「人類の新しい規模」を演奏し 起死回生の状態に感謝と勇気を与えた。</p> <p>以後毎年7月には鎮魂の曲を、12月には「震災復興0年」と銘打って、 ベートーヴェンの第九交響曲を演奏してきた。</p>	
	<p>1996年7月 ドゾオルザーク「レクイエム」 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>1997年7月 シューベルト「ミサ曲6番」 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>1998年7月 モーツァルト「レクイエム」 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>1999年7月 ドゾオルザーク「スタバトマテレ」 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>2000年7月 プラームス「ドイツレクイエム」 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>2001年7月 ベートーヴェン「ミサソレムニス」 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>2002年7月 シューベルト「ミサ曲5番」 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>2003年7月 モーツァルト「ミサ曲ハ短調」 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>2004年7月 バルビョーズ「荘厳ミサ」 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>2005年7月(祝)モーツァルト「レクイエム」 会場 神戸文化ホール大ホール</p>	<p>12月 ベートーヴェン 第九交響曲 会場 神戸文化ホール大ホール</p> <p>12月 同上</p> <p>12月 同上</p> <p>12月 同上</p> <p>12月 同上</p> <p>12月 同上</p> <p>12月 同上</p> <p>12月 同上</p> <p>12月 同上</p> <p>12月 会場 神戸国際会議場こけりホール</p> <p>12月(子午) 同上</p> <p>会場 神戸文化ホール大ホール</p>

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	
	<p>(①市・郡・町)</p> <p>神戸市</p>	
	<p>(②区・町・字)</p>	
	<p>(③丁目・番地等)</p>	
	<p>(④町)</p>	
<p>氏名</p> <p>団体名</p>	<p>KOSMA</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>阪神淡路大震災復興記念</p> <p>アマ4=7 管楽器コンクール</p> <p>平成10年2月(第1回)～平成16年12月(第8回)</p> <p>開催地 神戸市(第8回は灘区土山町 親和中学校・親和女子高等学校 ホール)</p> <p>小さなミスにこだわらず、大きな心と大切に、音楽する意欲に押し返さるコンクール。管楽器愛好家が意欲をもって音楽演奏の技術と芸術性の向上をめざし、地域の音楽文化の向上をめざす。</p>	
	<p>ソロ部門(15歳以下、18歳以下、一般・音楽専攻の4クラス)とアンサンブル部門がある。</p> <p>毎回このコンクールを励みとし出場する方々同志が、親しくなり情報交換が活発に行なわれている。コンクール^V最後に、その仲間が「KOSMA スパシヤル ウィンドアンサンブル」と名づけた合奏団を毎回即席でつくり、楽しいアンサンブルを披露している。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	①市・郡・町	神戸市
	②区・町・字	
	③丁目・番地等	
	④TEL	
氏名 団体名	篠原地域福祉センター 篠原まちづくり協議会	
<p>活動の内容</p> <p>名 期 間 場 所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>震災当日平成27年1月17日より2月末日まで</p> <p>篠原地域福祉センター</p> <p>約75名の避難民を受入れ入れた。</p> <p>トイレ、シャワー、確保 資金確保</p> <p>下着不足 確保 (電気ガス代等)</p> <p>市民の援助 食料、衣類、タオルは充分</p> <p>毛布も充分</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町) 神戸市	
	(②区・町・字)	
	(②丁目・番地等)	
	(④TEL)	
<p>氏名 団体名</p>	祥福寺専門道場 河野太通	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>やすらぎ地藏とやわらぎ地藏（1995～2004）</p> <p>「震災の犠牲者はこの世にいろんな思いを残して亡くなったはず。すべてが片付けられる前に、被災地の土で何かなくさめになる形あるものを残したい」と思い、お地藏さんを作り始め、京都、岡山、長野など5府県とベトナムの陶芸家らの協力を得て、犠牲者とはほぼ同数の6500体以上の「やすらぎ地藏」を、ご遺族やその他の人々の手に渡すことが出来ました。</p> <p>震災直後は、寺の雲水諸君とともに近隣の救助活動、その後、兵庫駅前、長田区内2カ所での炊き出し活動、兵庫区役所にボランティア登録しての、独居老人への手伝い等をしてきましたが、友人、家族を亡くされた被災者を慰めるために作り始めたお地藏さんでした。</p> <p>「やすらぎ地藏」は灘区で被災死した知人宅の土と、長田区で犠牲になった消防隊員宅の焼け跡の灰を、粘土に混ぜて自分一人で作り始めたため、犠牲者の数と同数作るのには、一生かかるだろうと思っていたが、各地の陶芸家たちの協力を得て、思いのほか早く3年後の97年秋には完成することが出来ました。</p>	
	<p>震災10年を前に「亡くなった人のためには安らぎが、生きている人のためには和らぎが必要」と考え、備前焼陶芸家の窯で、半年かけて一つ一つ平和を祈りながら、まことに心ばかりで作ったのが「やわらぎ地藏」300体です。震災の時、我々は世界中の人々から励まされ、安らぎを与えてもらいました。あれから10年近くたって、世界の子供が戦災に泣く時代になってしまいました。今度は我々が世界の人々へ『和』の心を伝えることが出来ればと願っています</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒 (事務局記入欄)	(①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (②丁目・番地等) (④凡)
氏名 団体名	社団法人兵庫県看護協会：高山恵英子	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	<p>私達、兵庫県看護協会の看護師ボランティアは震災復興支援活動の一環として、平成13年度より8市（尼崎・伊丹・川西・宝塚・西宮・芦屋・神戸・明石）20ヶ所の災害復興公営住宅の住民に対して、きめ細やかな健康チェック、健康相談、声かけ訪問等を実施し4年目を経過している。「まちの保健室」とは健康上の問題をもつ住民が不安や悩みをゆっくり語れる場を提供し、看護専門職ボランティアが気軽に健康に関する相談に応じることによって住民が安定した生活を維持できるよう支援する事業である。</p> <p>13年度より開始して4年目を経過しているが、その間に「まちの保健室」を訪れた住民は12098名、相談件数5855件、血圧測定や体脂肪、骨密度等の計測は26586件と徐々に増加してきている。「まちの保健室」に来所され、気軽な居場所となりその場に住民が集うことによりコミュニティも形成され、自己の健康を振り返るよい機会になっている。今後とも、兵庫県内各地域において「まちの保健室」ができ、より多くの方々に利用していただけるように私たちは住民の身近な相談者でありたいと願っている。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>武田 医院</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>平成7年2月2日開院予定だった私たちは1月17日の地震にあってすべて焼失してしまいました。2月6日仮設の診療所を建て診療をはじめました。10年たった今もその日の朝のことを思い出します。自分が医者としての仕事をできる喜びが、将来のことはわからぬけれど、もう一度しっかり病院が再建できたらこの日の夜持ちは一生忘れないで私こうと決心しました。初年の113人の方の助けや患者さん方に助けられて12月28日新しい診療所で診療をはじめることができました。仮設の雨やらの患者さんと10年早いねと最近話を聞くことが多いです。子供たちから私たち夫婦のためにおかしや食べ物をもってきてくれた方。薬、診療の用具を送ってくれた方たち。いつもはわからないで済ませていた人の優しさを身にしみて感じた毎日でした。おかげで力支えをしてくれる人間の力のすばらしさを感じたい。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	
	<p>(①市・郡・町) 神戸市</p>	
	<p>(②区・町・字)</p>	
	<p>(③丁目・番地等)</p>	
	<p>(④組)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>田中 穂</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>1. 養生と同時に関心の用心と学校の運動場をヒナにする様よびかけた。(ガソリンは神のイ)</p> <p>2. 前の道路西行4mが全部倒れた家で通行出来なくなり大きな声でさけんでもだめな為大体の状況を把握する為移動してAさんの奥から田中さん主人が居る中で材木にはさまれているので早く出し下さしと手を引かよって指をさしさがもうおと侍で下さし道具がなりとせめたと後にはるBさんも主人死にたり来り君の家を見る影もなく愛犬と共に死に</p>	
	<p>のテコ②シマシキ等を携えて行き他の人に手探りしてもらい死体の引出し。三軒西でマイクと言っているけか色して材木に足をはさまれている場で助け出す、生に生じごくもつと早く予知出来なかったのか?と腹立たしく思った</p> <p>③ 町内会館約30名の肉放を上部に具申</p> <p>④ 近所の人々のヒナを先をメモに書いて転々々に知らせた</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(①市・郡・町)</p> <p>(②区・町・字)</p> <p>(③丁目・番地等)</p> <p>(④Ⅲ)</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
<p>氏名</p> <p>団体名</p>		
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>⑤ 佐吉市場の知人3名を自宅2Fに約20日保護 看めて、学校へ食事の配給をとりに行った。</p> <p>⑥ 自衛隊(伊丹)4日目に来る他に死者がなにか さがるのに道具を貸す</p> <p>⑦ 三日朝文化のあとからウメキ声かするので ネコ?かとのどくと女の人が寒くて(失礼した のか)気がついたのが、早速消防隊に連絡 命をとりとめたとの事よかった...と思った</p>	
	<p>⑧ 1年後急に思い出し復興祈願の絵巻様を 壁に書く色々と言いました。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	田中 睦枝 役員 楠南地区民衆協議会	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	生活支援活動 H.7年1月21日～H.7年3月4日 東川崎7丁目蛭子神社前 配食サービス (午前7時30分～パン・牛乳 東川崎7丁目全世帯の避難所へ 行けなかった高齢者ひとりぐらし者 電気はつきましたか？水道はダメ ガスもダメなのか？東川崎7丁目は 死亡4名。今がした人もたくさんいた 火事がナシなのか？良かったと思はず	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	<p>(①市・郡・町) 神奈川</p>
		<p>(②区・町・字)</p>
		<p>(③丁目・番地等)</p>
		<p>(④住)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>出口正雄 ふれあい喫茶千代か谷</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>平成9年から10年 年 廣好台千代か谷仮設住宅の集会所において 当地の自治会の後を継ぎ ふれあい喫茶活動を行った。 自治会の方が止めるためのふれあい喫茶を めざしと聞き、仮設の人達のふれあいの場所 が無くなったので、ボランティアを募り ふれあい喫茶を続けることとした。集会所の コーヒー、卵、トースト、フルーツで100円 という前任のとおりとしたので材料の 借入水等に困った。 仮設の方が楽しくお茶を飲む機会が 増えた。現在地域活動センターで毎月10日 ふれあい喫茶を開催している。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(〒番号記入欄)</p>	<p>(〒番号記入欄)</p>
	<p>(①市・郡・町)</p> <p>神戸市</p>	
	<p>(②区・町・字)</p> <p>神戶中</p>	
	<p>(③丁目・番地等)</p>	
	<p>(④田)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>東方文化艺术団</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>1996年1月17日、西神戸仮設住宅慰問コンサートと同時に「東方文化艺术団」が成立し、日中友好、異文化交流のため10年間努力しました。一年一回のコンサート開催、これまで15回実現しました。たくさんの方の賛成を蒙り、「かみぼり、神戸！」の言葉で、一歩一歩前進しました。歌、踊り、京剧、民族楽器演奏、市民レベルの根の葉の国内と海外公演を実現しました。非、積極的に参加神戸市、小倉市、学校、老人ホームと出合、人と交流、音楽は国境のない音楽は武器として、世界平和、人類幸福に一層努力します。</p> <p>ホリエイブ優秀校外国人芸術団体、世田谷区立の看板として、もっともっとかみぼりた。</p> <p>小倉市、栄典受賞、神戸市、栄賞</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	
	<p>(①市・郡・町)</p> <p>神戸市</p>	
	<p>(②区・町・字)</p>	
	<p>(③丁目・番地等)</p>	
	<p>(④組)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 輝こまがばやし 理事長 北村美代子</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p> <p>昨年、 神戸市の活動 支援事業助成金 のお蔭で 久米東住宅事業 が実現した。</p> <p>その時の 活動内容は号 誌誌面生活復興 課に提出 くわしい事は上記 でお願いいたします</p>	<p><u>生活支援活動</u> 高齢者・障害者一人暮らし者の見守り、給食サービス、健康相談 子育て相談</p> <p><u>元気作り いまがいの作り支援</u> ふれあいの喫茶(月2回) 夏まつり 日帰り旅行</p> <p><u>地域つとめ活動</u> 地域の再建計画に協力(潮汐まつりに参加) 商店街再開発 事業のつとめ</p> <p>地域に根づいた実市場での親子での奥のつかみどり</p> <p><u>文化に繋がる活動</u> 日本の文化(おしち料理、お雑煮)作りで次代に伝承</p> <p>うれしかった事 久米東住宅に出前ふれあいの喫茶に1年間出張(月1回) そのおと住宅の方々が引きついでふれあいの喫茶をつつげている おんている事(器具全部おきて来た)住宅の存否確認、コニエ ションが出来ること久米東住宅の役員による「おれとおれスタッフ もふれあい、町で会うと声もかけ友達の輪が広がる</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (①市・郡・町)	(事務局記入欄) 神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④組)	
氏名 団体名	特定非営利活動法人 子育て支援ネットワ.フ あい	
活動の内容 (名称) (期間) (場所) 具体的内容 (うれしかったこと) (困ったことなど)	< 幼児の保育 子育て支援 > 期間 H16. 4月～ 場内 上記住所 西地区会館 2F部分 地震により住宅の倒壊後、マンション建設が進んだ東灘区においては、 幼保とも認定入居が不足し、保育所の不足し、又、近隣のファミリーも 希望のため、子育てに対する支援の必要に迫りました。 地域の会館と市が、地域住民の協力を得て、あり、その施設と 併せてNPOと連携して、子育て支援重視の保育施設を開設したい。 (設置者のコア・イメージ) 新しく住み移った若々世代の住民と震災前の住民の高齢者世帯の交流の 場づくり) 交流会等も開催予定 (H16. 12月 Xmas会等) 日々の生活でも近隣住民の、子育て世代に声をお寄せして、支えあ りたい。	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	特定非営利活動法人 社会還元セクターグループおわ	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>震災直後、シビアにカレッジ在学中の学生達は、カレッジ内より高く積み上げられた被災物資の仕分け作業に参加する者、しあわせの村の過剰な風呂を求めて長蛇の列を作る被災者の世話をす子者など自ら進んでいんをボランティアに参加した。</p> <p>やがて、あらんがに建ちはじめた仮設住宅の支援にうつる。便利大工、仮設訪問、ふれあい喫草、住民間の情報紙発行などをし、仮設住宅から復興住宅への引っ越し手伝い、被災者の病院ゆきのサポートなどを行なってきた。</p> <p>この震災体験をもとに、ボランティア活動への意識が高まり、卒業生による、神戸市シビアにカレッジ社会還元セクターグループが誕生した。</p>	
	<p>そして、平成16年4月、NPO法人社会還元セクターグループおわとして、法人認可されるまでの組織となった。</p> <p>現在、会員数は約840人。福祉、国際、環境、いまがいの5部会の活動と、東灘～西宮までの各区分在住会員中心の地域に根ざした活動を行なっている。</p> <p>感謝される時が一番うれしいと、皆、笑顔で活動報告をします。</p>	

以上

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
	<p>(①市・郡・町)</p> <p>神戸市</p>	
	<p>(②区・町・字)</p>	
	<p>(②丁目・番地等)</p>	
	<p>(④Ⅲ)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>特定非営利活動法人阪神高齢者・障害者支援ネットワーク</p>	
<p>活動の内容</p> <p>（名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど）</p>	<p>*お正月・お節料理の配食サービス 96年1月～99年1月・・・西神第7仮設住宅内の、独居高齢世帯及び老老介護世帯に対し実施。 公営住宅への転居が開始されてからは、仮設住宅外も対象とする。約100食/日</p> <p>00年1月～04年1月・・・神戸市内の公営住宅での高齢・障害世帯に対し実施。 約30～50食/日</p> <p>*三が日の間、暖かい手作りのお節料理を配食。 この配食サービスにおいては、単に「配食」するだけでなく、注文を取り、お節料理を持って各戸を訪問をすることで安否確認を行い、また同時に配食時に困ったことなどの相談や健康相談を受けている。日常的に訪問できない世帯への訪問は、思わぬ現状の把握につながり、震災被災→高齢者・障害者問題の掘り起こしになっていると考えている。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	①市・郡・町	神戸市
	②区・町・字	
	③丁目・番地等	
	④TEL	
氏名 団体名	特定非営利活動法人 マザーサポートの会	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>活動の内容</p> <p>①地域社会に南の水と交流の場の企画・運営 →夏休みのほほ家 8月下旬 地域の集会所</p> <p>②障がいをもつ親へのサポート →ほほ家サービス 毎週木 放課後託児 ほほ家 * 電話4-14-106</p> <p>③サポーターの研修と養成 子育て支援セミナーの南講 不定期 月4回 地域の集会所 (年3回)</p>	
	<p>震災後の障がいとこれからの母親のメンタルな部分における地域住民の協力が必要と感じました。</p> <p>これには子供たち同士が幼い頃から顔見知りにならなくてはならないと考え、夏休みのほほ家での子供たち同士の交流に力を入れています。</p> <p>又、母親自身が自己コントロールの考え方や方法を学ぶ事で自分の力を引き出し、主体的な行動ができることを目指しています。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④汎)	
氏名 団体名	灘区医師会	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	(別紙(4枚)記載とあり) +巻紙1枚	

震災復興支援活動の記録

灘区医師会（神戸市）

被災地域や被災者への支援

震災発生から8日めの1月25日より、灘区救護班連絡会議と連携し、灘区医師会として各診療所の再開に全力をあげるよう務め、診療所の再開状況を逐一保健所を通じて各救護班に連絡することとした。その翌日より、灘区医師会救護対策委員会を設置し、区内各医療機関と連絡を取り、診療可能な医療機関を地図上にプロットし、区内78の避難所、救護所、県外医療ボランティアチームに繰り返し配布し伝えた。

2月3日から7日にかけて、区医師会のボランティア活動の一つとしてインフルエンザ・ワクチンを65歳以上の方に対して、区医師会館にて接種した（合計275名）。この頃より、県外医療ボランティアチームに避難所の有病者は元のかかりつけ医に紹介するように要請した。

2月12日、各避難所（テント村も含む）に、ボランティアを通じて開設医療機関情報を地図上に明記し500部を配布した。

2月20日、「灘区における県外医療ボランティアチーム撤退に際しての区医師会としての対応」案に従って、県外医療ボランティアチームの撤退がスタートした。そのため撤退に伴い、その近隣の医師会員が5～8名で1チームを作り、避難所・救護所の巡回、健康・医療相談を始めた。医師会会員の巡回では原則として健康・医療相談のみとし、元のかかりつけ医に所定の紹介状を添えて戻ってもらうようにした。なお夜間は、入院可能な区内6病院に全て二次救急体制をとってもらった。

震災時の対応にかかわる教訓・反省点等

A. 震災直後から24時間後

地震の状況そのものの情報把握が困難である。すべてのライフラインが破壊され、自分たちのことで手一杯であり、計画的に医療活動を行うことができなかった。孤立無援で各会員が被害の程度にあわせ、不足する薬剤、医療材料の中で個人の能力を精一杯発揮するしかない状態であった。この時期のライフラインの問題点は、最も重要で根本的な問題を

含んでいるが、医療機能の能力低下の最大要因は水不足であった。また24時間以内であれば、薬品・医療材料の対応は、各医療機関毎におよそ可能であるが、48時間を超えると不足の傾向があった。医療機関のマンパワーについては出勤率50～60%と、若干の改善の余地がある。また、在宅患者の容態の把握、各避難所を訪問するなどは被災直後より医療機関の連携が必要である。さらに被災24時間以内は、外傷等の外科的処置の必要な方が中心のため、こうした事態に備えて診療科目の如何にかかわらず、ある程度の外科処置を中心とした救急科目の訓練が必要であろう。

B. 震災翌日～灘区医師会救護対策委員会発足まで

わずかずつ周囲の情報も入り始める。また、相互に連絡を取り始めようとする試みもなされた。医師会として行動してはどうかという意識も生じてきた。

@医師会会員としての意識が芽生え始めたが、行動はいまだならず。

@医師会館へ集まることさえ考えつかなかった。

この期間の医師会としての活動は、かなり改善の余地がある。特に指揮系統のフローの確立が急務である。そのため早急に会館に集まり、対策を検討すべきであった。そして、会館には事務員か医師会員が待機し、会員に対応すべきだった。情報を収集・伝達し、指揮系統をどう運用するかが、最大のポイントである。近隣の医院とも連絡をとり、相互に薬剤の融通や不得意科目をカバーする協同診療なども今後の課題であろう。

C. 灘区医師会救護対策委員会発足直後～およそ1週間後

医師会全体としての活動の始まり

会員の安否確認が終わり、病診・診々連携による医療活動が行われ始めた。市・県医師会との連絡も徐々に整備されてきた。入手できる情報と伝達する情報の量が飛躍的に増加し、行政や救援活動にきた種々団体とも協調し、災害医療対応はかなりの成果をあげていった。

活動がうまくいった理由。

(1) 情報収集の一元化

(2) 情報伝達(会員・行政・患者・マスコミ・避難所)の一元化

①FAX、電話の回復は情報整理を飛躍的に向上させた

②問屋(情報の収集・伝達、事務用品の提供、コピーなど)との協調も必要であった

(3) 指示系統の一元化(時には理事会の事後承認も可とすること)

- (4) 行政への積極的な働きかけ
- (5) 積極的な医療ボランティア活動への参加（避難所の医師団撤退に際して）
- (6) マンパワーの活用（医師会館への出務・ワクチン接種など）

この時期には、区医師会会員のみでなく行政、ボランティア、市、県医師会との相互協力が必要になってくる。今後、各々の団体にどの様に連携するかをも含め考える必要がある。

今後への提言

地震後の医師会活動を通じて得た経験を踏まえて、今後どのような対応をすべきかを時期別に考えた。

1. 災害発生前

- 1) 通信システムの見直し
 - ①連絡手段・方法に一工夫が必要
 - ②文明の利器だけでなく、原始的システムも考えておく
- 2) 医薬品・材料の備蓄・供給の検討をする
 - ①医薬分業も含め検討をする
 - ②緊急時の滅菌の最適なものの選択（特にウィルスに対して）も検討する
- 3) 会員の対・災害医療対応能力のデータの管理を整える
 - ①会員のデータは取り出しやすいような形で整理しておく必要がある
- 4) 防災に関するシステムを作っておく
 - ①行政（警察、消防、保健所）、間屋、住民も含めて検討する
- 5) DMAT の様な災害時の派遣医療チーム体制を組織化する

2. 災害発生直後

- 1) 情報センター機能（中核）を早急に作る必要がある
- 2) 病院、学校、公共施設を救護所の拠点とする
- 3) 会員の安否確認・困っている事の情報収集と対応を早急にする
- 4) 行政との連携に対応する人を決めておく
- 5) 医師会館の設備の見直し
 - ①貯蔵場所：薬剤、医療材料があれば、仮診療所にもなる
 - ②集合場所、一時的には住宅に困っている会員の居住区にもなる

- ③情報発信基地：ミニFM局を設置できたのでは（医療情報の提供）
- 6) 区域外からの救援に対応する担当者をすぐ決めること
- ①情報（収集・伝達にあたる）
 - ②医療材料（保存・確保・供給）
 - ③マンパワーの適正配置をはかる
- 7) 輸送手段の確保、効率化を検討する
- 特に被災地区の被災患者を非被災地区の医療機関に搬送する流れを作る（医療ヘリ、船舶の活用も）
- 8) 市、県、日本医師会への要望
- ①緊急に人員の派遣をすべきだ
 - ②金がかかっても、データなどのシステムは共通化をはかれ
 - ③収集したデータは至急に還元して欲しい
 - ④何が必要であるかを現場に尋ねて欲しかった
 - ⑤人も物資も派遣するという体制を作れ！
- 9) マスコミへの要望
- ラジオ、テレビは、刻々と変化する被災地医療機関の情報・交通情報を現地と情報センターの双方向性情報として広報すべきであり、被災地情報を中心とした一方性の広報のあり方には反省すべき点がある。

<まとめ>

灘区医師会で震災時に経験した問題点を検討した結果、当区医師会としての災害時の対応は、以下のとおりに行うこととなった。

1. 会員は安否を知らせあい、とにかく集まる。
2. 中核（対策本部）をつくる。
3. 会員の消息の把握、情報の収集・伝達、災害への対応に努める。

なお灘区医師会では、現在も大規模災害発生時には、会員がそれぞれ避難所となる公立学校などの施設に速やかに出向き、医療活動などの人道支援を行う体制にある。

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	神戸市
	(②区・町・字)	
	(②丁目・番地等)	
	(④〒)	
氏名 団体名	西平野自治会 会長 武内 隆一郎	
活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	<p>豆の木会 パンの会 焼きたてパンを食べながら歓談友情の輪が増えてきた 自治会館毎月第3水曜日 参加者約25名</p> <p>シニアフレンズ 70歳以上参加ダーツ・ボール投げなど楽しく遊びを中心とした活動 20名参加</p> <p>西平野ボランティア少年隊 小・中学生を主体月1回土曜日1時間ボランティア活動をしています。 地域の一員として公園掃除や、お年寄りのお手伝いなど「自分に出来ること」をやってやろう、地区内の空き地の草刈や、福祉センターの植木の植栽、公園清掃、防災訓練出動・六甲アイランドまで清掃ボランティアハイキングなど子供たちは、積極的にがんばって活動をしています。 隊員たちは、西平野ボランティア少年隊員証を持ち、自分から挨拶をする挨拶運動をしています。隊員数16名</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒 (①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④組)	(事務局記入欄)
氏名 団体名	西村 千代子	
活動の内容 (名称・期間・場所・具体的内容・うれしかったこと・困ったことなど)	<p>平成13年 5月より配食サービスのお世話を始めさせて頂きまして、いつのまにか 3年 5ヵ月が過ぎ、87人の方々にお会い致しました。その間にはいろいろな出来事があり、入院のこと、困ったこと、嬉しかったこと等、その度の一つずつ経験を積み重ねてきました。</p> <p>◎入院 配食サービスが始まった初日、一番最初に伺ったおばあちゃんの体調が一目見て悪そうなのに気付き、婦人会と食品会社に報告、即、入院されたと翌日お聞きし、ホッとすると同時に見守りの大切さを痛感致しました。 入院に付いては、私は隔日に寄せて頂いて居りますので、ある日「Aさんお早うございます。今日はしんどそうですね」「ちょっとねむたいの」という返事、ところが何時もと様子が違い相談員さんと婦人会に届けました。それから日を増すにつれ体調は悪くなる一方で婦人会と食品会社に、もう一度届けました。次の日、Aさんも即、入院されたとの連絡を頂き安堵致しました。Aさんのご家族の方にも喜んで頂きました。まもなくお二人とも退院されて、配食を楽しみにして下さいましたが、平成16年 6月に前後して入院されました。</p> <p>◎困ったこと 黙って家を留守にされることです。11時に伺ったらお留守、12時過ぎ午後1時と何度伺っても留守で食品会社に届けます。この 3年 5ヵ月の間に、このようなことは、何回もありました。最近では、少し減ったかなと思います。 なぜか今日1日が無事に終わったと思えずに、割り切れない気持ちが残ります。でも、2回目に伺って帰って居られ「きてくれたの、ごめんね」といわれると「いいんですよ帰ってきてくれてありがとう」とすっきりした気持ちで帰ります。このようなときは、今日も一日終わったと ホッとします。</p> <p>◎嬉しかったこと 「いつもありがとう」と待っていて下さる方、昨日の嬉しかった話を聞いて欲しくて、玄関先で待っておられる人、私たちの訪れを心待ちして下さる方達がいらっしやるということ。これは、私にとって何よりも嬉しいことです。 また、明後日もお元気でお会い致しましょう。</p>	
配食サービスについて		

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒 (事務局記入欄)	(①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④Ⅲ)
氏名 団体名	春 次 子	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	<p> キヤトルウニふれあいの喫茶 平成10年11月より毎月2回 現在に至りてあります キヤトルウニ2号棟集会所 毎月2日曜日と9日曜日 地域の皆様のふれあいの場として モーニングエヒも提供してあります 皆様の笑顔と息子のかわいらしい顔が ボランティアの方も皆地域の力を 15名です </p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます す	〒 (①市・郡・町) 神奈川 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④風)	(事務局記入欄)
氏名 団体名	繁栄自治会	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	自治会創立40周年記念誌として、震災10年を 経ると題して、記念誌を作成した。 各自治会等に参考のために思案中の団体は 申し込みの要なく先着、200団体へ送付します。 (郵送料400円を添付)	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(① 市・郡・町) 神戸市	
	(② 区・町・字)	
	(② 丁目・番地等)	
	(④ 組)	
氏名 団体名	阪神大震災を記録しつづける会	
活動の内容 (名称) (期 間) (場 所) 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	名 称：震災体験手記集第10巻（最終巻）の出版 期 間：平成16年12月下旬 出版書名：『阪神大震災から10年 未来の被災者へのメッセージ』 （発売：神戸新聞総合出版センター） 内 容：この10年間、被災者やボランティア活動家から手記を公募し、編集・出版しました。 既刊1～9巻については、掲載作品の全文をホームページで公開しています。 うれしかったこと： この10年間で1078編もの手記が寄せられ（うち376編を採用、掲載）ました。第10巻にも、56編の手記が寄せられ、うち38編を掲載しました。この10年間、毎年投稿くださった方々もおられます。	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒 (事務局記入欄)</p> <p>(①市・郡・町) 神戸市</p> <p>(②区・町・字)</p> <p>(③丁目・番地等)</p> <p>(④田)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>ひょうご交流人クラブ 会長 佐野未夫</p>
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>震災から復興していく過程で、地域コミュニティの大切さを痛感しましたが、それと同時に、各方面からの支援活動に目を向けると、被災地と日頃から交流活動のあった地域からの支援が多く見られました。そこで、災害時に地域間交流が大きな力を発揮することに着目し、平成7年8月に、地域間交流を実践している人や交流活動に関心のある人が交流に関する情報を互いに交換する場として、当クラブを設立しました。平成16年11月末現在で約150人が会員として活動しています。</p> <p>主な活動としては、会員相互の活動状況や各種交流イベントの情報を掲載した会報誌を発行しているほか、会員の親睦を深め、意見・情報交換するための交流会を実施しています。</p> <p>直近の交流会では、神戸市東灘区深江地区において「交流・循環・共生のまちづくりフォーラム」を開催し、震災を契機にしたまちづくりの変遷を振り返る一方で、都市と農山村が交流・連携しながら、“ふるさと”としての誇りを共有・共感できる地域社会を、自分たちの手で作っていかねばならないことを改めて考え直すきっかけとなりました。</p> <p>今後も、このような地道な活動を通じて、会員相互の交流の輪を広げ、地域間交流を活発に展開していきたいと考えています。</p>

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p>	<p>(事務局記入欄) *72重複</p>
	<p>①市・郡・町) 神戸市</p>	
	<p>②区・町・字)</p>	
	<p>③丁目・番地等)</p>	
	<p>④四)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>フェニックス・ステーション 東垂水 推進員 尾路千代子</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> フェニックス・ステーション 東垂水 期間 平成9年度より11年度までの3年間 場所 東垂水小学校校区内 主な内容 ラジオ体操、夏まつり、ブランドゴルフ、アラスバントコンサート 講演会、雪あそび、もちつき大会など うれしかったこと 地域のみなさんに大変よろこばれ、期待された。 又、協力的で大きいイベントの際は、婦人会、おれごち協議会 小、中のPTA、小学校も一緒に活動して戴いた。 特に雪あそびは大よろこびで、またやつて欲しいと希望された。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 私個人としては平成12年2月全国管工事業協同組合連合会青年部総会がポートアイランドで行われた時に震災時に全国の管工事業部の人たちに下水道工事の復旧作業をして下さったことに一市民として主婦の立場からお礼のことは総会の席上、あいさつさせて戴きました。 文集「神戸からありがとう」にお礼のことはそのせて戴きました。 	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます 〒	〒 (事務局記入欄) (①市・郡・町)	(事務局記入欄) 神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④Ⅲ)	
氏名 団体名	兵庫県彫刻家連盟	
活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	<ul style="list-style-type: none"> ・2004年8月 兵庫県彫刻家連盟展(毎年開催)と共に 我行一展を行い、売上金額を神戸新聞厚生事業団震災復興10周年記念事業に寄贈した。 ・定例の連盟展に加え、県内各地にて 屋内・屋外展を数多く開催し、芸術文化振興・地域交流に尽力、被災者の方を念め、人々に癒しの空間を提供し続けている。 	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒	(事務局記入欄)																								
	(①市・郡・町)	神戸市																								
	(②区・町・字)																									
	(③丁目・番地等)																									
	(④Ⅷ)																									
氏名 団体名	兵庫県生活研究グループ連絡協議会 会長 邑橋 裕恵																									
活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど	<p>震災後、被害状況や避難所の実態が伝えられるにつれ、生活研究グループ員の中から、自然的に「何かしなければ」という声が出てきた。</p> <p>当会では、避難住民に豚汁等の温かい食事やサラダ等を提供するため、避難所での炊き出しを行い、延べ96グループが参加し、約26,000食を提供した。</p> <p>自家生産の野菜等を使い、前日から下拵えをし、鍋やガスコンロ、水等を積み込んで避難所へ向かった。また調理実習器具を搭載した県の移動農業改良普及センター「友愛号」もフル運行し、活動を支援した。</p> <p style="text-align: center;">生活研究グループによる炊き出し活動</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>月・旬</th> <th>実施グループ数</th> <th>食事数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月下旬</td> <td>延べ16</td> <td>4,900</td> </tr> <tr> <td>2月上旬</td> <td>25</td> <td>9,745</td> </tr> <tr> <td>中旬</td> <td>14</td> <td>4,410</td> </tr> <tr> <td>下旬</td> <td>12</td> <td>3,920</td> </tr> <tr> <td>3月上旬</td> <td>17</td> <td>1,723</td> </tr> <tr> <td>中旬</td> <td>12</td> <td>1,749</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>延べ96グループ</td> <td>26,447 食</td> </tr> </tbody> </table>		月・旬	実施グループ数	食事数	1月下旬	延べ16	4,900	2月上旬	25	9,745	中旬	14	4,410	下旬	12	3,920	3月上旬	17	1,723	中旬	12	1,749	計	延べ96グループ	26,447 食
月・旬	実施グループ数	食事数																								
1月下旬	延べ16	4,900																								
2月上旬	25	9,745																								
中旬	14	4,410																								
下旬	12	3,920																								
3月上旬	17	1,723																								
中旬	12	1,749																								
計	延べ96グループ	26,447 食																								

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒 (当務局記入欄)	
	①市・郡・町 神戸市	
	②区・町・字	
	③丁目・番地等	
	④四	
氏名 団体名	フォト集団 北極星	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	<p>アマチュア写真家団体(結成08年1月、会員20名)隔年で写真展を開催していたが、震災の直後、撮影者の死により開催不能となった。</p> <p>兵庫県「被災地芸術文化活動補助金」により、平成10年12月、平成14年2月に「デュオこころ」の「デュオギャラリー」で開催した。</p> <p>平成10年12月には(事前組込)入場者約6,000名、平成14年約5,500名が来場した。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所 ※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒 (事務局記入欄)</p> <p>(①市・郡・町) 神戸市</p> <p>(②区・町・字)</p> <p>(③丁目・番地等)</p> <p>(④FL)</p>
<p>氏名 団体名</p>	<p>深田 勲</p>
<p>活動の内容 (名称・期間・場所) 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>「えっちゃんまつり」と呼ばれているようです。</p> <p>・ヨーヨー祭り大会 (春・秋各1回) ... ヨーヨーを楽しんでもらうヨヨー1アキのやつをお土産に。</p> <p>・すいかまつり (夏1回) ... よく冷えたおすいかは、程の大きさのすいかを子供達の目の前で切って振り舞う。</p> <p>・元氣が出る不思議なみかんプレゼント (1月19日) ... 復興JA西守根の有志の協力で、道行く人に1袋づつ、Xマセニエを入れて「今年元氣を出して乗り越えて行けよう」という思いを込めて渡します。</p> <p>・人生訓 ... 震災後、落ち込んでいる人が増え、少しづつ励ましにほれぼれと店頭に暮らしています。</p>
	<p>・場所 ... 北セタニの店「えっちゃん」前にて</p> <p>・最初は、マナーが悪かったり、挨拶が出来ない人が多かったが、最近はいのりされて来ている事を嬉しく思っています。</p> <p>・参加者が増えて(500名程)、事故のほいほいに神経を痛めている事の一番大変に思っています。</p> <p>・参加者の中から、人が喜んでくれる事、社会の役に立つ事ができる人が、育って行くといい願いを込めて。</p>

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	①市・郡・町	神戸市
	②区・町・字	
	③丁目・番地等	
	④住	
氏名 団体名	福岡 勝	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>私は塩屋の自宅が家族5人の寝室において 連休明けの出発の為目こぼれに^{地震を}出る直前に体験 した。</p> <p>私の仕事は当時都市銀行 建築技師の立場で、約15 年間 後日に東の24時間体制で参画していた。</p> <p>何れも体験者として、建築・街づくりの専門家として (具体的内容) 阪神大震災の被害調査に2日間、2度1m2に入る 浸水被害の調査、燃焼、給水、排水の設備……30年間経験あり</p>	
	<p>「提言申し上げたい。」</p> <p>「常に現場に居る」の考えを基に体制づくりが大切</p> <p><u>正確に現場の状況、データを収集する</u></p> <p>その分析、対策検討、対策実施、着目、好成果 が上げられる</p> <p>いかに高いレベルの専門家があっても必ず「その考えに基づいて」 又干渉するものは具体的に申し上げたいと思う。浸上</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>藤原 せつ</p> <p>ふれあい母と子の会 (昭和三十九年長崎県立生涯学習センター)</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>ふれあい母と子の会 (兵庫県下の児童福祉施設支援団体)</p> <p>震災(阪神淡路大震災)平成7年1月17日</p> <p>神戸市内 会員居住の地域内</p> <p>地震により家屋倒壊その他の理由で居住家屋がなくなった市民の方々新しく居住地が決った人の転居の荷物掃除などを手伝った。個人的に私(2件)は3回程でしたが居住地の近いところのほう手伝いに参加させて頂きました。他の団体の男性の方なども一緒に協力して喜んでお礼を言われた事もよかったです。</p>	
	<p>時期は4月～8月頃だったと記憶していますが、その辺は定かではありません(兵庫県 長田区 (2件))</p> <p>1回の手伝いは3～4人(2件)で手伝いました。</p> <p>団体全体で何件ぐらいだったのか聞いていません</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務用記入欄)
	①市・郡・町	神戸市
	②区・町・字	
	③丁目・番地等	
	④班	
氏名 団体名	プロジェクト 7-1-1-2	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>・平成7年1月28日 設立</p> <p>・平成7年1月28日～3月末まで、兵庫已漆川中学校を中心とした緊急救援活動(毎日の湯たんぽ配布、炊き出し、物資調達と配布等)</p> <p>・平成7年4月～平成8年12月まで、兵庫已の仮設仮設、須賀已の仮設台所、カニ、カニ仮設を中心として、仮設支援活動 (平石権紙、高橋若や藤巻若の介助、ふしあいの喫茶、各種行事など)</p> <p>・平成9年1月～平成10年12月まで、兵庫已、須賀已の復興住宅を中心としたコミュニティづくりの場としての活動 (仮設と復興住宅を念じた地域コミュニティの支援など)</p> <p>★また、この時期に「高齢者の生きがい、仕事づくり」として、手作り品の販売と多方面で開始。他にも、被災地の現状を英居で伝える「演劇キャラバン」やボラ/ライズセミナーなども開いた。</p>	
	<p>・平成11年1月～現在まで、兵庫已を中心として神戸市内で地域の員として活動することを考えながら活動を継続中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔工房おんがら、て原の運営(高齢者の生きがい、仕事づくり、講習会等) ・サポートスタジオ/歌吹の運営(地域との共生を目指し、誰もが気軽に参画する場として月へ土あっている) ・その他、地域や近隣の方々のニーズに随時対応 	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒 (事務局記入欄)	
	(①市・郡・町)	神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④Ⅲ)	
氏名 団体名	ボランティアグループ「ふるさと」	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	名称：お節料理配布 <small>(復興住宅に住む高齢者・障害者)</small> 期間：12月30日(平成11年から毎年) 場所：神戸市内の復興住宅 具体的内容 お節料理を配布する時喜んでくれる顔を見るとやりがいがある。また毎年心待ちしてくれるので 寄附金が集まらなくても役員達がカンパしてでも行っている。お節料理を作る場所が復興住宅等の集会所で行うため急な不幸があった時集会所が使えなくなり場所探しに困る時がある。	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒	(事務局記入欄)		
	(①市・郡・町)	神戸市		
	(②区・町・字)			
	(③丁目・番地等)			
(④Ⅷ)				
氏名 団体名	的場 宏 いきいきネットワーク30班			
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	名称	期間	場所	活動概要
	1. 淡路花博	15日	淡路	清掃、ビラ配、誘導
	2. " " 花祭	15日	"	" " "
	3. 1.17メモリアル	4回	HAT神港	鎮魂ウオー
	4. 入居者介護	4回	水戸屋	餅作り、夏祭、給食その他
	5. 垂水養護学校	2回	同左	秋祭、見守り
	6. デイケア者介護	1回	水戸屋	給食サービス
	7. 全国手工芸フェア	4回	県会館	展示作品監視
	8. いきいきネットワーク特展	5日	"	会場設営、作品監視
	9. 兵庫のまつり	4回	明石公園	清掃、案内
	10. FIFAサッカー杯	5日	JR西舞鶴	通訳、案内、ビラ配付
	11. ウイングスタジアム	5回	同左	受付、案内、ビラ配付
	12. HAT神戸左スタ	2回	HAT神戸	清掃、案内
	13. 震災10周年記念	1日	淡路	献花、ニュース、球根植栽
	14. ボランティア祭り	2回	垂水屋	会場設営他
多くの会場で賞状、御苦労様、の一声が元気付けてくれました(感謝).				

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (事務局記入欄)	(①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④組)
氏名 団体名	御影山手自治会	
活動の内容 (名 期 場 所) (具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	名称: 震災発生後救援物資の配給を実施 期間: 平成7年1月下旬～3月上旬 場所: 御影山手自治会館(1区御影山手3-3-1) 内容: 1区御影山手2丁目～6丁目の地域では川沿いの家屋に 半壊がみられたが死者皆無であった。 平成7年1月17日夕方電気は略々復旧したが 水道は2月中旬、ガスは3月中旬復旧といふことで、そ の間炊事に困難した。 1月19日区役所に行き自治会館を避難所とし 登録した。約100世帯の自治会であるが2500人 で申し込んだ日の午後から食糧・物資が配送さ れてきた。自治会館大会議室を倉庫として自治会 役員がボランティアの協力を得て配給を開始した。 1世帯1ヶで弁当を配給するとき寒い中700人位が 行列した。大会議室は食糧を保管しているので暖房 できません。所帯着で作業した。週末休むと苦情が でてそのお蔭に苦慮した。その後校区単位で夏祭りを実施	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
<p>氏名</p> <p>団体名</p>	<p>南五条ふれあいの交流センター</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>高齢者福祉問題 地域環境美化活動</p> <p>平成27年4月 - 現在迄</p> <p>神戸市北区南五条地区公民館 周辺会場</p> <p>① 高齢者 高齢化の中でふれあいの生き残りづくりの活動実施で 其の役割を分け分けた事</p> <p>② 地域内の美化 クリーン作戦 花のつぼみ運動</p>	
	<p>③ リサイクル活動 資源回収の推進</p> <p>リサイクル手袋等の頒布</p> <p>資源の活用推進</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町) 神戸市	
	(②区・町・字)	
	(②丁目・番地等)	
	(④Ⅲ)	
氏名 団体名	宮野医療器株式会社	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>阪神淡路大震災は当社にも甚大な影響を与えました。当社は医療機器・理化学機器を扱う商社ですので社会的使命もあり会社一丸となって対応しました。</p> <p>当社についていえば、被災した社員数人が当社施設に避難し不便な生活をしました。助けていただいたことですが北海道、愛知、石川の同業者が総勢 20 人の応援部隊を派遣してくれました。社員に被災者もあり人材不足の折本当に助かりました。彼らの応援もあって当社は倒壊した神戸市立西市民病院等で機器の搬出、機器の使用・作動の可否の点検を行いました。ただ、当社の受け入れ施設が本社ビル内だったため一部の人が風邪・発熱をされ、申し訳なかったと思います。また本社には常時数人が泊り込み緊急の供給体制を作って活動をしました。</p> <p>一方、兵庫県神戸市などと協力して兵庫県下の医療機器関係の同業者（兵庫県医理化機器協会）と共に病院、救護所、避難所へ医療用具・救急用具等の配布に懸命に動きました。これを契機として平成 9 年には上記協会と神戸市消防局との間で「大規模災害時における救急機器等に関する協定」を結び、現在も災害が起こった場合への対応体制を作っています。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(①市・郡・町)</p> <p>神野</p> <p>(②区)町・字)</p> <p>(③丁目)番地等)</p> <p>(④組)</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
<p>氏名</p> <p>団体名</p>	<p>ミョー・ジカール 夢★ Kirari 代表 鈴木直子</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名称</p> <p>期間</p> <p>場所</p> <p>具体的内容</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>三世代'ミョー・ジカール</p> <p>幼いから母親・祖母の世代まで一丸となって一つの舞台を作り上げて来ている舞台に立っています。</p> <p>毎週土曜午前中、天池や田舎の活動にしています。</p> <p>毎年秋の北巴民文化祭に参加、千歳末には可和らんど-Wを借りて自主公演を行って来ます。今年度は平成17年3月20日にセカンド(2期生)のイベント開催予定です。ふんばり給食会、地域の病院での公演も毎年行っています。三世代の一語に7といふくらい練習を重ねています。震災で亡くなった方々や高齢者の方々が子供達から元気とパワーをもらい、明るく笑っているのを見て、震災で傷ついたり悲しいおぼろげな方々のひと声か、いかに下がる様子の。見つけたいです。三世代も山々の方々の助けを借りながら日々活動を続けています。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (事務局記入欄)	(①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④Ⅲ)
氏名 団体名	民生委員 加賀瀬 和美 (水木長寿訪問グループ 代表 岡田 清)	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	ふれあい茶話会 毎月第一日曜日 午前10時～午前12時 水木住定の集会所 (水木通ク丁目) ひとり暮らし老人を対象とした長寿訪問グループの ボランティアのメンバーの理解と協力を得て 平成12年6月から始め 53回になります 震災の後の仮設住宅から始まったふれあい 喫茶とか復興住宅でのふれあい喫茶をみ ひとり暮らし老人宅を訪問するより楽に下に行く事 考えました。水木通町の自活会、老人会も協賛し いたため、とてもいい交流の場になっています。 またひとり暮らし老人の方を同じのおつきあいをし りの様子でふれあい茶話会の効果のしゆが、 細くとも長く続けたらいいと思っております。	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒 (①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④Ⅲ)	(事務局記入欄)
氏名 団体名	何井みえ子 (南王塚地域福祉センター) 活動場所 1人暮らし	
活動の内容 (名称、期間、場所、 具体的内容、うれしかったこと、困ったことなど)	震災後、仮設住宅に入居された方の生きがいづくりに取り組まれました。その方は40年余り刺繍の趣味を捧げ近隣の方に教えて来られた方が93才で3月に須山の作品を作ってもらいました。一度の展示会に出品するの事になりその事ごみの辺り大作の日々を見る事になりダンスの中にも関わっていました。素晴らしい作品を見せて頂き是非皆さんに見て頂きまようとして頂き、仮設住民を支援する何人かの人に呼びかけで100点余りの作品展を計画しました。場所は仮設住宅内の公園内の地域福祉センターを借り事務所にした。作品に番号と名称をつけ机に並べたり壁にかけた。又作品展の案内パンフレットの協力して下書きがあり準備万端整いました。あの日曜日は雨模様でしたが大勢の方が見に来て下さり始めの作品展をして貰ったととても喜びました。作品の写真も写して下書きがありアルバムに収められています。その作品展をきっかけに刺繍をしてみたいと暮らして教えて頂く事にしました。作品展のきっかけをお世話をする事にし、仮設に住んでいる方達を中心に月2回小道具から教えて頂きました。5年余りで仮設の解消に参りました。幸いお見舞い近隣の住宅に入居された方が刺繍教室の10年目に入りました。現在お続けです。生徒の成長喜びはあります。93才の先生は生々おかくしくして教える事に生きがいを感じておられます。周囲の協力と受け付けお功を奏して市連発なのからとても嬉しい感謝	

震災復興支援活動の記録

住所 ×①市町名は公開 させていただきます す	〒	(事務局記入欄)
	(① 市・郡・町) 神戸市	
	(② 区・町・字)	
	(③ 丁目・番地等)	
(④ TEL)		
氏名 団体名	元町商店街	
活動の内容 (名称) (期間) (場所) 具体的内容 (うれしかったこと) (困ったことなど)	震災後の商店街として 商店街として市民生活を支える円滑な物資の供給のため早急の店舗の再開。 鉄道が寸断され、徒歩通勤される方々のため、照明設備の深夜点灯。 メッセージレンガ「神戸レンガ・プロジェクト」の敷設。(平成7年) 第1回 元町ミュージックウィークの開催 (平成10年10月16日～11月1日) 平成16年(第7回) 毎年好評開催 130年記念行事として 元町太陽光発電所・元町130年シンポジウム・ひと・まち・アート・ 元町アートウィーク・お菓子パラダイス・130名の教急救命士・救急ステーション・ 「夢街道」制作・「元町の歌」制作(元町シスターズの活躍)	
	「希望の灯り」平成16年12月4日から30日 公彫作品のオブジェ化、掲示 震災より10年の神戸、生誕130年の元町の未来の道しるべ、希望の灯り 商店街が130年の誇りを持って活性化し、市民、地域の方に親しみ、憩い、楽しく 元気になっていただけるように、活動をしていく。	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開 させていただきます	〒 (①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④組)	(事務局記入欄)
氏名 団体名	八木 静子	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	後になって考えると、私の家は一瞬にしてつぶれ ました。幸な事に大きな柱は簞笥等の上に落ち 少し出来た空間に寝ていました。互に無事とたしかめ 何とか外へ出る事が出来ました。その時は命があれば 何もいらなと思いましたが時間が過ぎればそれは 大間違でした。避難所は甲南大学へ行きまし た。当日から電気がついて居り 明りがあると云ふ事は 何のほのとは有難くとても良いものでした。又ボランティア の学生さんが多く良い所へ来たと思えました。 朝食が終ると家の後仕事です。外暗くなる頃には大学へ 帰ります。阪神電車が青木駅まで来る様になると家の前 道が西へ行く人々の通り路になりました。子供が神戸 の地図と倉庫の壁にはりました。早くは人の人々が地図を見よう	

方があって
行き出した。

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒 (事務局記入欄)	(①市・郡・町) 神戸市 (②区・町・字) (③丁目・番地等) (④階)
氏名 団体名	山本 未由 IP ジョッキー	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	被災者の方に音楽を通して元気をとり戻してもらい為に、ライブ活動を続けています。 活動場所：垂水区内、漆川フェスタ 等に参加	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④Ⅲ)	
氏名 団体名	有限会社 ウィンド・ミュージックカンパニー	
<p>活動の内容</p> <p>（名称）</p> <p>（期間）</p> <p>（場所）</p> <p>（具体的内容）</p> <p>うれしかったこと</p> <p>困ったことなど</p>	<p>実家全壊、仕事場半壊使用不可の中、家族全員が無事だったことが、ききえとなり、被災者の一人として、震災直後から、夫婦で「この街をもう一度」「復活の楽の2曲を作り、1ヶ月目より避難所から復興地へと5ヶ月間ボランティアで唄い励ました。</p> <p>震災の年から10年間(1995年~2004年)震災遺児支援コンサート「風のあると輝く女男達コンサート」を開催し、遺児家庭の皆さんや視覚障害者の皆さんを毎年300名御招待し、大変喜ばれました。</p> <p>(コンサート内容別紙)</p> <p>10年間 総額 ￥14,550,000-</p> <p>(別紙あり)</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
<p>①市・郡・町 神戸市</p>		
<p>②区・町・字</p>		
<p>③丁目・番地等</p>		
<p>④Ⅲ</p>		
<p>氏名 団体名</p>	<p>吉田 英子 神戸市立池田児童館(F.S)</p>	
<p>活動の内容</p> <p>名 務 期 間 場 所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>フエックス池田、上池田住宅自治会 平成11年、1年間 (集会所) 平成11年4月 集会所に於て、ふれあい喫茶)開設 神戸市立池田小学校校長推薦で、(住宅住民有会)責任者 フエックス推進員となる。知人のお誘いのなか、何処か集会所 に倉庫棚 冷蔵庫 びーサー等(古い品物)寄贈に下り、給の 車の不測に給に感謝しました。主人が市住宅課より初任自治会 長とすめられ承諾、協力してくれました。1ヶ月に1回 重田さん と協力員と計画、池田小のこどもたちと、高倉着とのふれあいを中心に 地域の自治会と交流もいたしました。僅か1年間でしたが 楽しかった想い、おはようまで、も残っております</p>	
	<p>自治会としては、月に1回 住民全員で住宅周辺の清掃 もいたしました。現在、大掃除のみが残された行事です。 奉仕の精神を忘れずボランティアは続けます。フエックス終了 後、市立池田児童館とステーションにて、生活復興委員ネット事務局 の情報を地域に配布、お手伝いさせて頂いております。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p> <p>(事務局記入欄)</p>	
	<p>①市・郡・町</p> <p>神戸市</p>	
	<p>②区・町・字</p>	
	<p>③丁目・番地等</p>	
	<p>④田</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>若田正三 果川市野学園地活会</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p> <p>大阪新自民 会館一丁目 築平均20年</p>	<p>今般に市町名を振動と同時に階段上に趣味で置いた 花籠6点中の中国の取巻の骨董品を新外下二層の愛犬スコープの 悲鳴と共に起りいよいよ着て居る愛犬は場所を当時15000の 自治会長と小学校施設解放委員長の欠け不能の故にすに顔見知り 人が車の母親と乗せに乗せて家が来りていふ会長小学校の運動場 に所が校舎が崩れ、どうして「まや」さびしい言葉に大抵在るのと 所を一巡に帰る6人の割合に65人の割合(平均23%)に至る程度 状況を知り得る様相は同様に水通の破壊が所内と同様に現況 1日以上の浸水が所内34軒直にガスを使用し、特に2回院向以 家の傾き両側の山一面に家が殆ど大30の程度早急に避難状況 を報告して所内母館家庭を以て軒方が想いで家の傾きを 申し出た中学校講堂は1軒1軒一階に居る5、6の市と自治会館2 階に所内出身の自治会長、施設委員に状況説明の調査と経路大破5戸補修 1戸、1月28日所内被災者状況を以て家への復元の進捗が一目、中心は 大市に12以上の報告を以て1月30日までに提出、所内一番早く提出した 事、家々の志火所中に奔走した出来事でした。</p>	

震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	<p>〒</p>	<p>(事務局記入欄)</p>
	<p>(①市・郡・町)</p> <p>神戸市</p>	
	<p>(②区・町・字)</p>	
	<p>(③丁目・番地等)</p>	
	<p>(④四)</p>	
<p>氏名 団体名</p>	<p>リーフグリーン</p>	
<p>活動の内容 名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p>	<p>くらしの助け合い事業 リーフグリーン</p> <p>2000年4月30日、被災者である主婦4名で設立。 阪神淡路大震災の救援活動として活躍した「おちの保健室」の活動を引き継ぎ、恒久的な活動として発展させた。地域住民同士で助け合えるシステムを作る為に、利用者と活動者と共に会員となり、介護保険などの公的制度から外れた部分の支援を有償で行っている。内容としては、ホームヘルプ・移送・配食・子育て支援などの自立支援活動とミニサービス・茶話会等のふれあい活動と多岐にわたる。</p> <p>エレベーターの無い古い市住に住んで居られた障害をお持ちの高齢者が、階段の昇降に難渋しに居られたのを男性ヘルパーがおんぶして支援した事で本当に喜んで頂いた。又、配食に伺った事で倒れている人を見つけて救急車を呼び一命を取り留めた事などを通して、この仕事の大切さを実感すると共に大きな喜びを感じながら、年中無休の活動を続けている。</p> <p>介護保険から外れた部分という事でとり組んできた若年障害者への支援が、支援費制度という公的のものになり、その恩恵に預けられる障害者が増えた事が何より嬉しい。</p> <p>「リーフ」の配食のは後継者問題で、震災から生まれた大切なこの活動をどのようにして次の世代へつなげていくか、今後の大きな課題である。</p>	

震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	神戸市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④區)	
氏名 団体名	りん さか 林坂 まり子	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	<p>私は、マンション内で民生児童委員です。 当時、3人のひとり暮らしの女性の方がいました。 電気が復旧して、字石屋根などに伺いますと、 2階の方はさほど動揺もなく、部屋も荒れて いませんでした。 5階の方は、ガラスが少しズレて動いていたので 元に動かさし直しました。 12階の方は、家具・仏壇などが倒れて、ひどい 状態でした。ガラスが倒れて、ドアも開かずに 部屋もありました。主人とで、大きな家具を元に 戻しましたが、とても、女性一人ではできない 作業なので、主人の助けがあり、大変、助かりました。 当り前の事をした事でありますが、皆さん、大変、 ようして下さり、少しは、お役に立てたかな、と 充実感がありました。</p>	

